



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月14日

上場会社名 株式会社 富山第一銀行 上場取引所 東  
 コード番号 7184 URL <https://www.first-bank.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 横田 格  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 高島 寧 TEL 076-461-3861  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日 特定取引勘定設置の有無 無  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	32,230	11.7	3,931	△17.1	2,232	△37.5
2019年3月期	28,866	△11.7	4,740	△39.6	3,573	△33.3

(注) 包括利益 2020年3月期 △5,694百万円 (-%) 2019年3月期 3,375百万円 (△23.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	経常収益 経常利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	33.52	-	2.4	0.3	12.2
2019年3月期	53.42	-	3.7	0.4	16.4

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 -百万円 2019年3月期 -百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	1,391,333	96,958	6.5	1,365.77
2019年3月期	1,338,165	103,714	7.4	1,473.65

(参考) 自己資本 2020年3月期 90,877百万円 2019年3月期 98,581百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	79,045	△61,979	△1,075	65,844
2019年3月期	△9,583	20,369	△937	49,854

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	-	7.00	-	7.00	14.00	936	26.2	1.0
2020年3月期	-	7.00	-	7.00	14.00	931	41.8	1.0
2021年3月期(予想)	-	7.00	-	7.00	14.00		42.3	

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,600	△44.9	1,100	△46.7	16.53
通期	3,200	△18.6	2,200	△1.5	33.06

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2020年3月期:	67,309,700株	2019年3月期:	67,309,700株
2020年3月期:	770,595株	2019年3月期:	413,821株
2020年3月期:	66,571,327株	2019年3月期:	66,887,805株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	27,213	12.9	3,531	△20.4	2,138	△39.0
2019年3月期	24,109	△14.6	4,436	△40.3	3,504	△33.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	32.12	-
2019年3月期	52.39	-

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	1,377,472	88,090	6.4	1,323.89
2019年3月期	1,325,690	96,227	7.3	1,438.46

(参考) 自己資本 2020年3月期 88,090百万円 2019年3月期 96,227百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 2021年3月期の個別業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	1,500	△44.1	1,100	△45.4	16.53
通期	2,900	△17.9	2,100	△1.8	31.56

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において当行が入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当行として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	
(1) 当期の経営成績・財政状態の概況 .....	2
(2) 今後の見通し .....	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14
4. 個別財務諸表	
(1) 貸借対照表 .....	15
(2) 損益計算書 .....	18
(3) 株主資本等変動計算書 .....	20

※ 2020年3月期決算説明資料

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績・財政状態の概況

#### ① 当期の経営成績の概況

2019年度を振り返ると、海外経済は年末までは米中貿易摩擦の長期化、中国経済の減速、英国のEU離脱問題などの下振れ要因により停滞感を強めながらも緩やかな回復を維持しました。日本経済も10月の消費増税の影響により10～12月期のGDPが大きく低下したものの景気対策による下支え効果などから緩やかな景気拡大基調を維持しました。

しかしながら2019年12月に中国武漢で確認された新型コロナウイルス感染症がパンデミックとなって世界中に伝播したことから2020年の世界経済は深刻な後退を余儀なくされました。特に株価や原油価格、不動産価格が大幅に下落し関連する金融市場は軒並み危機的な状況に陥りました。

これに対し内外の金融政策当局が資金供給の拡大、政策金利引き下げなどの緊急措置を講じたことなどから金融市場は幾分落ち着き回復しておりますが、なお不透明感を払拭し切れない状況にあります。

2020年度の国内経済については、新型コロナウイルス感染防止のための行動抑制による経済活動の縮小等から企業業績や雇用情勢の悪化が予想され、政府による救済措置による下支え効果は期待されるものの、全体としては厳しい道程を進むものと予想されます。

当行の主たる営業基盤である北陸地域も、製造業のグローバル化や観光事業など非製造業の経済に占める役割の拡大が進んでいただけに、こうした内外の動向を注視していく必要があります。

2019年度の連結会計年度業績は以下のとおりです。

損益状況につきましては、経常収益は資金運用収益の増加や国債等債券売却益の増加等により322億30百万円（前連結会計年度比11.7%増）となりました。経常費用は国債等債券償還損の増加や株式等売却損の増加等により282億98百万円（同17.3%増）となりました。この結果経常利益は39億31百万円（同17.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は22億32百万円（同37.5%減）となりました。

#### ・2020年3月期通期業績と前期実績との差異

(2019年4月1日～2020年3月31日)

	連結経常収益	個別経常収益
前期(2019年3月期) (A)	百万円 28,866	百万円 24,109
当期(2020年3月期) (B)	32,230	27,213
増減値(B-A)	3,363	3,103
増減率(%)	11.7	12.9

#### ② 財政状態の概況

譲渡性預金を含めた預金等につきましては要払性預金の増加を主要因として当期中に422億円増加し当期末残高は1兆2,349億円となりました。

貸出金につきましては、事業者向けは増加したものの地方公共団体向けの減少を主要因として当期中に134億円減少し当期末残高は8,101億円となりました。

有価証券につきましては適切なリスク管理の下、外国証券等のその他有価証券の増加を主要因として当期中に398億円増加し当期末残高は4,770億円となりました。

外国為替業務につきましては当期中の取扱高は前年度に比べ38百万ドル減少し2億60百万ドルとなりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に預金等及びコールマネー等の純増額の増加により前期比886億28百万円増加し790億45百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有価証券の取得による支出の増加により前期比823億49百万円減少し△619億79百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは前期比1億37百万円減少し△10億75百万円となりました。

以上により現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度に比べ159億90百万円増加し658億44百万円となりました。

(2) 今後の見通し

2020年度通期の連結経常利益は貸出金利息及び役員取引等利益の増加を予想するものの新ホストコンピュータ稼動に伴う経費の増加やコロナウイルス感染症拡大による企業業績悪化に伴う与信コストの増加を予想しており、前年度比18.6%減の32億円を見込んでおります。また親会社株主に帰属する当期純利益は連結経常利益の減少予想により前年度比1.5%減の22億円を見込んでおります。

同様に当行単体の経常利益は、前年度比17.9%減の29億円、当期純利益は、前年度比1.8%減の21億円を見込んでおります。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当行は、内部留保の充実、財務体質の強化を図りながら、積極的な事業展開や事務効率化及びお客さまへのサービス向上により企業価値を向上させ、株主の皆さまへの適切な利益還元により株主価値を拡大させていくことを最重要課題と考えており、継続的かつ安定的に配当を実施していくことを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、当期の業績並びに経営環境等を総合的に勘案いたしまして、1株当たり7円とさせて頂く予定であります。これにより2019年度の配当金は中間配当金の7円と合わせて年間14円となる予定であります。

次期の配当につきましては、上記の基本方針及び次期業績予想に基づき、年間14円（中間配当金7円、期末配当金7円）を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当行グループの利害関係の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	50,631	67,959
商品有価証券	182	152
金銭の信託	700	700
有価証券	437,255	477,085
貸出金	823,643	810,197
外国為替	1,222	1,548
リース債権及びリース投資資産	8,644	8,589
その他資産	7,298	12,523
有形固定資産	10,960	10,547
建物	4,477	3,936
土地	5,654	5,309
建設仮勘定	0	-
その他の有形固定資産	827	1,301
無形固定資産	1,068	1,198
ソフトウェア	1,019	1,149
その他の無形固定資産	49	49
繰延税金資産	65	4,360
支払承諾見返	2,654	2,512
貸倒引当金	△6,161	△6,043
資産の部合計	1,338,165	1,391,333
<b>負債の部</b>		
預金	1,163,718	1,183,843
譲渡性預金	29,021	51,133
コールマネー及び売渡手形	15,000	35,000
借入金	16,380	15,711
外国為替	0	-
その他負債	5,030	3,296
役員賞与引当金	20	22
退職給付に係る負債	679	519
睡眠預金払戻損失引当金	126	84
偶発損失引当金	165	117
繰延税金負債	860	1,365
再評価に係る繰延税金負債	793	767
支払承諾	2,654	2,512
負債の部合計	1,234,450	1,294,375

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部		
資本金	10,182	10,182
資本剰余金	6,076	6,076
利益剰余金	74,234	75,546
自己株式	△289	△405
株主資本合計	90,204	91,400
その他有価証券評価差額金	7,129	△1,766
土地再評価差額金	1,491	1,467
退職給付に係る調整累計額	△243	△224
その他の包括利益累計額合計	8,376	△522
非支配株主持分	5,133	6,080
純資産の部合計	103,714	96,958
負債及び純資産の部合計	1,338,165	1,391,333

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
経常収益	28,866	32,230
資金運用収益	17,929	18,193
貸出金利息	9,259	8,790
有価証券利息配当金	8,630	9,366
預け金利息	33	32
その他の受入利息	5	4
役務取引等収益	2,070	2,008
その他業務収益	5,057	9,163
その他経常収益	3,808	2,863
償却債権取立益	3	4
その他の経常収益	3,804	2,859
経常費用	24,126	28,298
資金調達費用	668	500
預金利息	647	485
譲渡性預金利息	4	3
コールマネー利息及び売渡手形利息	△4	△11
借入金利息	20	22
その他の支払利息	0	0
役務取引等費用	1,186	1,127
その他業務費用	6,556	8,196
営業経費	12,794	12,728
その他経常費用	2,920	5,745
貸倒引当金繰入額	1,895	171
その他の経常費用	1,024	5,574
経常利益	4,740	3,931
特別利益	24	-
固定資産処分益	24	-
特別損失	379	595
固定資産処分損	13	6
減損損失	365	589
税金等調整前当期純利益	4,385	3,335
法人税、住民税及び事業税	1,167	1,168
法人税等調整額	△491	△251
法人税等合計	675	917
当期純利益	3,709	2,418
非支配株主に帰属する当期純利益	135	186
親会社株主に帰属する当期純利益	3,573	2,232



(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	3,709	2,418
その他の包括利益	△333	△8,112
その他有価証券評価差額金	△356	△8,132
退職給付に係る調整額	22	19
包括利益	3,375	△5,694
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,254	△6,643
非支配株主に係る包括利益	120	949

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,182	6,076	71,508	△308	87,459
当期変動額					
剰余金の配当			△936		△936
親会社株主に帰属する当期純利益			3,573		3,573
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分			△5	18	12
土地再評価差額金の取崩			95		95
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	2,726	18	2,745
当期末残高	10,182	6,076	74,234	△289	90,204

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	7,470	1,586	△266	8,790	5,014	101,264
当期変動額						
剰余金の配当						△936
親会社株主に帰属する当期純利益						3,573
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						12
土地再評価差額金の取崩						95
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△341	△95	22	△413	119	△294
当期変動額合計	△341	△95	22	△413	119	2,450
当期末残高	7,129	1,491	△243	8,376	5,133	103,714

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,182	6,076	74,234	△289	90,204
当期変動額					
剰余金の配当			△934		△934
親会社株主に帰属する当期純利益			2,232		2,232
自己株式の取得				△139	△139
自己株式の処分			△9	22	12
土地再評価差額金の取崩			23		23
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	1,312	△116	1,195
当期末残高	10,182	6,076	75,546	△405	91,400

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	7,129	1,491	△243	8,376	5,133	103,714
当期変動額						
剰余金の配当						△934
親会社株主に帰属する当期純利益						2,232
自己株式の取得						△139
自己株式の処分						12
土地再評価差額金の取崩						23
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△8,895	△23	19	△8,899	947	△7,952
当期変動額合計	△8,895	△23	19	△8,899	947	△6,756
当期末残高	△1,766	1,467	△224	△522	6,080	96,958

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	4,385	3,335
減価償却費	1,172	1,060
減損損失	365	589
貸倒引当金の増減(△)	1,332	△117
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△70	△160
睡眠預金払戻損失引当金の増減(△)	△0	△41
偶発損失引当金の増減額(△は減少)	73	△47
資金運用収益	△17,929	△18,193
資金調達費用	668	500
有価証券関係損益(△)	△768	2,183
為替差損益(△は益)	47	191
固定資産処分損益(△は益)	△10	6
貸出金の純増(△)減	6,775	13,400
預金の純増減(△)	5,886	20,158
譲渡性預金の純増減(△)	△4,978	22,111
借入金(劣後特約付借入金を除く)の純増減(△)	△4,808	△669
預け金(日銀預け金を除く)の純増(△)減	△120	△1,337
商品有価証券の純増(△)減	△26	29
コールマネー等の純増減(△)	△15,000	20,000
外国為替(資産)の純増(△)減	△54	△329
外国為替(負債)の純増減(△)	0	△0
リース債権及びリース投資資産の純増(△)減	△540	55
資金運用による収入	17,852	18,344
資金調達による支出	△706	△1,171
その他	△178	△237
小計	△6,633	79,662
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,950	△617
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,583	79,045
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△110,129	△208,433
有価証券の売却による収入	107,126	124,977
有価証券の償還による収入	24,023	22,844
有形固定資産の取得による支出	△271	△961
有形固定資産の売却による収入	35	-
無形固定資産の取得による支出	△414	△406
投資活動によるキャッシュ・フロー	20,369	△61,979

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△936	△934
非支配株主への配当金の支払額	△1	△2
自己株式取得・売却による収支	△0	△139
財務活動によるキャッシュ・フロー	△937	△1,075
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,848	15,990
現金及び現金同等物の期首残高	40,005	49,854
現金及び現金同等物の期末残高	49,854	65,844

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等において、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当行グループでは、当行及び富山ファースト・ビジネス株式会社が銀行業務を展開し、富山ファースト・リース株式会社がリース業務を展開しております。

したがって、当行グループは「銀行業」と「リース業」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表の作成方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益をベースとした数値であり、セグメント間の取引は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	27,112	4,498	31,611	619	32,230	-	32,230
セグメント間の内部経常収益	158	358	517	56	573	△573	-
計	27,270	4,857	32,128	675	32,803	△573	32,230
セグメント利益	3,535	208	3,744	192	3,936	△5	3,931
セグメント資産	1,377,431	12,093	1,389,525	16,221	1,405,746	△14,412	1,391,333
セグメント負債	1,289,598	9,739	1,299,337	9,155	1,308,493	△14,117	1,294,375
その他の項目							
減価償却費	1,038	19	1,057	2	1,060	-	1,060
資金運用収益	17,941	4	17,945	373	18,319	△125	18,193
資金調達費用	503	53	556	89	646	△145	500
特別損失	595	-	595	-	595	-	595
(固定資産処分損)	6	-	6	-	6	-	6
(減損損失)	589	-	589	-	589	-	589
税金費用	798	70	868	48	917	-	917
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,368	3	1,372	0	1,373	-	1,373

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業務及び金銭の貸付等の業務を行っております。
3. 調整額は、以下のとおりであります。
- (1) セグメント利益の調整額△5百万円は、セグメント間取引消去であります。
  - (2) セグメント資産の調整額△14,412百万円には、貸出金のセグメント間取引消去12,695百万円、リース債権及びリース投資資産のセグメント間取引消去734百万円を含んでおります。
  - (3) セグメント負債の調整額△14,117百万円には、借入金のセグメント間取引消去12,695百万円、預金のセグメント間取引消去632百万円を含んでおります。
  - (4) 資金運用収益の調整額△125百万円には、貸出金利息のセグメント間取引消去120百万円を含んでおります。
  - (5) 資金調達費用の調整額△145百万円には、借入金利息のセグメント間取引消去120百万円を含んでおります。
4. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,365円77銭
1株当たり当期純利益	33円52銭

(注) 1. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	2,232
普通株主に帰属しない金額	百万円	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	2,232
普通株式の期中平均株式数	千株	66,571

2. なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないので記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。



4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
現金預け金	50,605	67,947
現金	9,786	10,358
預け金	40,819	57,588
商品有価証券	182	152
商品国債	159	152
商品地方債	22	-
金銭の信託	700	700
有価証券	424,794	463,007
国債	62,376	90,689
地方債	15,099	18,995
社債	50,608	50,874
株式	80,510	72,858
その他の証券	216,199	229,588
貸出金	835,586	822,732
割引手形	10,805	7,810
手形貸付	30,367	27,887
証書貸付	680,002	663,441
当座貸越	114,411	123,592
外国為替	1,222	1,548
外国他店預け	1,127	1,495
取立外国為替	95	52
その他資産	3,909	9,023
未決済為替貸	111	61
前払費用	24	24
未収収益	1,467	1,314
金融派生商品	14	68
その他の資産	2,292	7,553
有形固定資産	10,788	10,379
建物	4,390	3,853
土地	5,587	5,242
リース資産	128	673
建設仮勘定	0	-
その他の有形固定資産	681	610
無形固定資産	1,014	1,158
ソフトウェア	966	1,110
その他の無形固定資産	47	47
前払年金費用	-	43
繰延税金資産	-	3,924
支払承諾見返	2,654	2,512
貸倒引当金	△5,768	△5,658
資産の部合計	1,325,690	1,377,472

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
預金	1,164,283	1,184,550
当座預金	56,657	62,951
普通預金	416,344	451,968
貯蓄預金	22,505	22,904
通知預金	8,671	8,230
定期預金	645,106	620,184
定期積金	5,609	5,265
その他の預金	9,390	13,046
譲渡性預金	29,021	51,133
コールマネー	15,000	35,000
借入金	12,717	12,012
借入金	12,717	12,012
外国為替	0	-
未払外国為替	0	-
その他負債	4,013	2,943
未決済為替借	209	92
未払法人税等	89	283
未払費用	1,360	782
前受収益	340	374
従業員預り金	170	162
給付補填備金	0	0
金融派生商品	47	9
リース債務	146	743
資産除去債務	80	67
その他の負債	1,568	428
役員賞与引当金	20	22
退職給付引当金	324	236
睡眠預金払戻損失引当金	126	84
偶発損失引当金	165	117
繰延税金負債	342	-
再評価に係る繰延税金負債	793	767
支払承諾	2,654	2,512
<b>負債の部合計</b>	<b>1,229,463</b>	<b>1,289,381</b>

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
純資産の部		
資本金	10,182	10,182
資本剰余金	6,074	6,074
資本準備金	6,074	6,074
利益剰余金	72,191	73,410
利益準備金	3,157	3,344
その他利益剰余金	69,033	70,065
別途積立金	38,860	38,860
繰越利益剰余金	30,173	31,205
自己株式	△289	△405
株主資本合計	88,158	89,260
その他有価証券評価差額金	6,577	△2,637
土地再評価差額金	1,491	1,467
評価・換算差額等合計	8,068	△1,169
純資産の部合計	96,227	88,090
負債及び純資産の部合計	1,325,690	1,377,472

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
経常収益	24,109	27,213
資金運用収益	17,738	17,941
貸出金利息	9,363	8,898
有価証券利息配当金	8,334	9,006
預け金利息	33	32
その他の受入利息	5	4
役務取引等収益	2,070	2,012
受入為替手数料	595	578
その他の役務収益	1,475	1,433
その他業務収益	548	4,435
国債等債券売却益	373	4,333
国債等債券償還益	0	0
その他の業務収益	174	101
その他経常収益	3,752	2,824
償却債権取立益	2	2
株式等売却益	3,667	2,674
金銭の信託運用益	6	6
その他の経常収益	76	141
経常費用	19,673	23,681
資金調達費用	655	503
預金利息	647	485
譲渡性預金利息	4	3
コールマネー利息	△4	△11
その他の支払利息	8	25
役務取引等費用	1,215	1,157
支払為替手数料	109	106
その他の役務費用	1,106	1,051
その他業務費用	2,484	3,935
外国為替売買損	50	174
商品有価証券売買損	0	2
国債等債券売却損	1,957	1,742
国債等債券償還損	455	1,984
その他の業務費用	20	32
営業経費	12,471	12,394
その他経常費用	2,846	5,691
貸倒引当金繰入額	1,847	166
貸出金償却	0	0
株式等売却損	851	5,169
株式等償却	0	246
その他の経常費用	146	108
経常利益	4,436	3,531

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
特別利益	24	-
固定資産処分益	24	-
特別損失	379	595
固定資産処分損	13	6
減損損失	365	589
税引前当期純利益	4,081	2,935
法人税、住民税及び事業税	1,056	1,042
法人税等調整額	△479	△245
法人税等合計	576	796
当期純利益	3,504	2,138

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	10,182	6,074	6,074	2,970	38,860	27,703	69,534	△308	85,482
当期変動額									
利益準備金の積立				187		△187			
剰余金の配当						△936	△936		△936
当期純利益						3,504	3,504		3,504
自己株式の取得								△0	△0
自己株式の処分						△5	△5	18	12
土地再評価差額金の取崩						95	95		95
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	-	-	-	187	-	2,470	2,657	18	2,676
当期末残高	10,182	6,074	6,074	3,157	38,860	30,173	72,191	△289	88,158

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	6,912	1,586	8,498	93,981
当期変動額				
利益準備金の積立				
剰余金の配当				△936
当期純利益				3,504
自己株式の取得				△0
自己株式の処分				12
土地再評価差額金の取崩				95
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△335	△95	△430	△430
当期変動額合計	△335	△95	△430	2,246
当期末残高	6,577	1,491	8,068	96,227

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計	
					別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	10,182	6,074	6,074	3,157	38,860	30,173	72,191	△289	88,158
当期変動額									
利益準備金の積立				186		△186			
剰余金の配当						△934	△934		△934
当期純利益						2,138	2,138		2,138
自己株式の取得								△139	△139
自己株式の処分						△9	△9	22	12
土地再評価差額金の取崩						23	23		23
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	-	-	-	186	-	1,031	1,218	△116	1,102
当期末残高	10,182	6,074	6,074	3,344	38,860	31,205	73,410	△405	89,260

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	6,577	1,491	8,068	96,227
当期変動額				
利益準備金の積立				
剰余金の配当				△934
当期純利益				2,138
自己株式の取得				△139
自己株式の処分				12
土地再評価差額金の取崩				23
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△9,214	△23	△9,238	△9,238
当期変動額合計	△9,214	△23	△9,238	△8,136
当期末残高	△2,637	1,467	△1,169	88,090

2 0 2 0 年 3 月 期  
決 算 説 明 資 料

2020年5月14日

株 式 会 社 富 山 第 一 銀 行



## [ 目 次 ]

I . 業績ハイライト	.....	1
II . 2020年3月期決算の概況	.....	5
1. 損益状況	(単体) .....	5
2. 業務純益	(単体) .....	5
3. 損益状況	(連結) .....	6
4. 利回・利鞘	(単体) .....	7
(1)全店	(単体) .....	7
(2)国内部門	(単体) .....	7
5. 有価証券関係損益	(単体) .....	7
6. 自己資本比率(国内基準)	(単体・連結) .....	8
7. ROE	(単体) .....	8
8. 有価証券の評価損益	(単体・連結) .....	9
9. 預金・貸出金の残高等	(単体) .....	10
(1)主要勘定末残高及び増減状況	(単体)	
(2)主要勘定平残及び増減状況	(単体)	
(3)個人預り資産の残高	(単体)	
(4)消費者ローン残高	(単体)	
(5)中小企業等貸出比率	(単体)	
(6)その他	(単体)	
10. リスク管理債権の状況	(単体・連結) .....	11
11. 金融再生法開示債権	(単体) .....	12
12. 金融再生法開示債権の保全状況	(単体) .....	12
13. 貸倒引当金の状況	(単体) .....	12
14. 業種別貸出金状況等	(単体) .....	13
(1)業種別貸出金	(単体)	
(2)貸出金業種別リスク管理債権	(単体)	

# 1. 業績ハイライト

## 1. 損益の状況

(百万円)

【連結】	2020年3月期	前年比		2019年3月期
		増減額	増減率	
経常収益	32,230	3,363	11.7%	28,866
経常利益	3,931	△ 808	-17.1%	4,740
親会社株主に帰属する当期純利益	2,232	△ 1,341	-37.5%	3,573

経常収益は、資金運用収益や国債等債券売却益の増加により、前年比3,363百万円増加いたしました。

経常費用は、資金調達費用等は減少したものの株式等売却損等の増加により、前年比4,172百万円増加いたしました。

この結果、経常利益は、前年比808百万円減少いたしました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、固定資産減損損失が増加したことにより前年比1,341百万円減少となりました。

(百万円)

【単体】	2020年3月期	前年比		2019年3月期
		増減額	増減率	
業務粗利益	18,792	2,790	—	16,001
資金利益	17,437	355	—	17,082
役務取引等利益	854	△ 0	—	854
その他業務利益	499	2,435	—	△ 1,935
うち国債等債券損益	607	2,646	—	△ 2,038
<b>コア業務粗利益</b>	<b>18,184</b>	<b>144</b>	<b>0.8%</b>	<b>18,040</b>
経費(除く臨時処理分) (△)	12,295	△ 83	—	12,379
人件費 (△)	5,861	△ 96	—	5,958
物件費 (△)	5,583	△ 76	—	5,659
税金 (△)	849	89	—	760
実質業務純益	6,496	2,874	—	3,622
コア業務純益	5,889	227	—	5,661
<b>コア業務純益 (除く投資信託解約損益)</b>	<b>5,415</b>	<b>208</b>	<b>4.0%</b>	<b>5,207</b>
一般貸倒引当金繰入額 (△)	△ 294	△ 780	-160.6%	485
業務純益	6,791	3,655	—	3,136
臨時損益	△ 3,260	△ 4,559	—	1,299
うち株式等損益	△ 2,742	△ 5,557	—	2,815
うち不良債権処理額(※1) (△)	410	△ 1,025	—	1,436
<b>経常利益</b>	<b>3,531</b>	<b>△ 904</b>	<b>-20.4%</b>	<b>4,436</b>
特別損益	△ 595	△ 240	—	△ 354
税引前純利益	2,935	△ 1,145	—	4,081
法人税等(※2) (△)	796	220	—	576
<b>当期純利益</b>	<b>2,138</b>	<b>△ 1,365</b>	<b>-39.0%</b>	<b>3,504</b>

(※1) 不良債権処理額は貸出金関係を記載しております。

(※2) 法人税等には、法人税、住民税及び事業税並びに法人税等調整額を含めて記載しております。

### 経常収益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益



#### コア業務粗利益

利回り上昇による有価証券利息配当金の増加を主因とした資金利益の増加により、前年比144百万円増加し、18,184百万円となりました。

#### 経費(除く臨時処理分)

期中平均人員の減少による人件費の減少及び経費削減等による物件費の減少により、前年比83百万円減少し、12,295百万円となりました。

#### コア業務純益(除く投資信託解約損益)

コア業務粗利益の増加及び経費の減少により、前年比208百万円増加し、5,415百万円となりました。

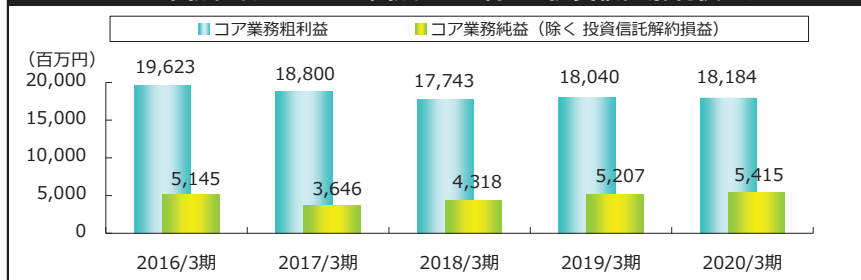
#### 経常利益

業務純益が前年比3,655百万円増加したものの、株式等損益が同5,557百万円減少したことにより、経常利益は前年比904百万円減少し、3,531百万円となりました。

#### 当期純利益

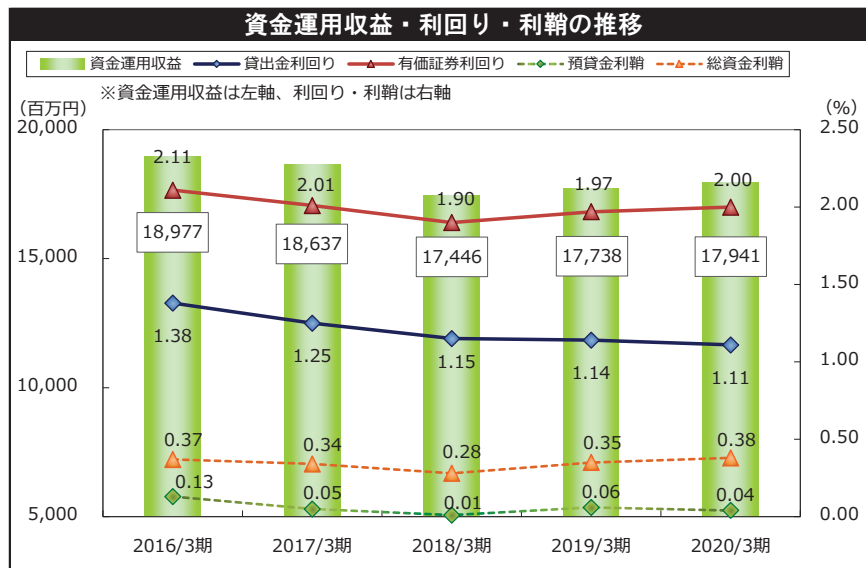
経常利益の減少及び法人税等の増加により、当期純利益は前年比1,365百万円減少の2,138百万円となりました。

### コア業務粗利益・コア業務純益(除く投資信託解約損益)



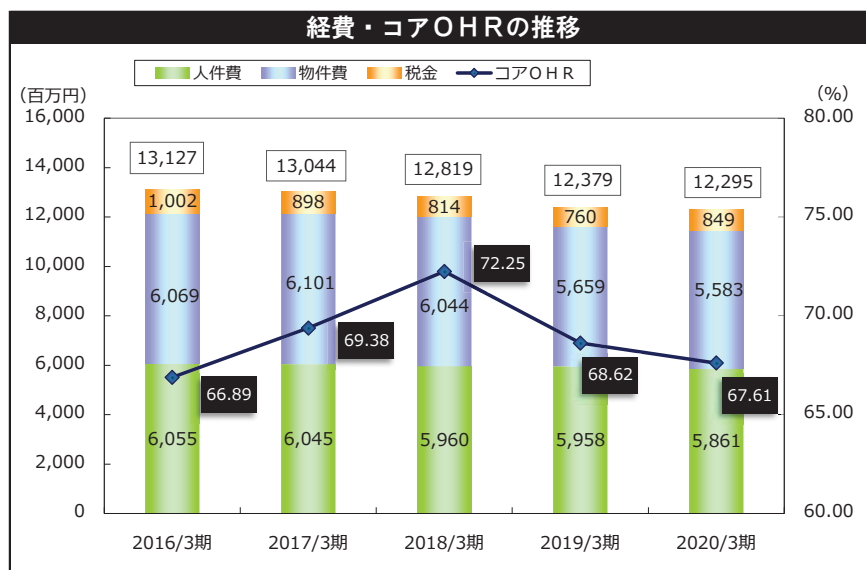
## 2. 資金運用収益・利回り・利鞘の状況

貸出金利回りは、日銀の長短金利操作付き量的・質的金融緩和政策の持続により前年比0.03ポイント低下しましたが、有価証券利回りは前年比0.03ポイント改善いたしました。  
 預貸金利鞘は前年比0.02ポイント悪化したものの、総資金利鞘は0.03ポイントの改善となり、資金運用収益は前年比203百万円増加いたしました。



## 3. 経費・コアOHRの状況（※経費は臨時処理分を除く）

コアOHRは、コア業務粗利益の改善144百万円及び経費（除く臨時処理分）の減少83百万円により前年比1.00ポイント改善し、67.61%となりました。

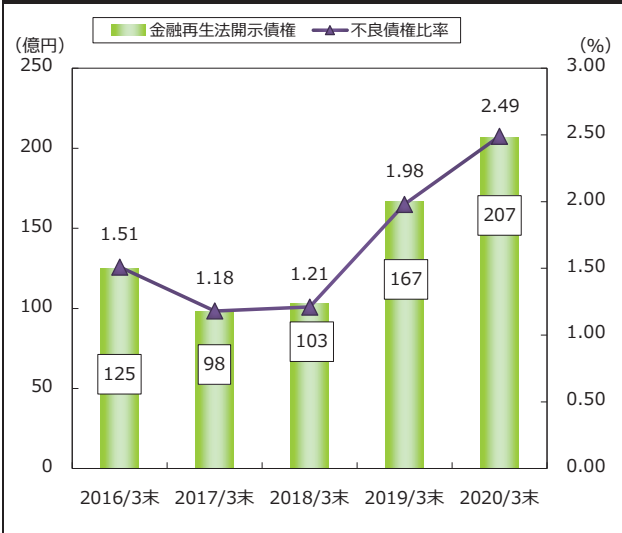


（※1）コアOHR = 経費 ÷ コア業務粗利益

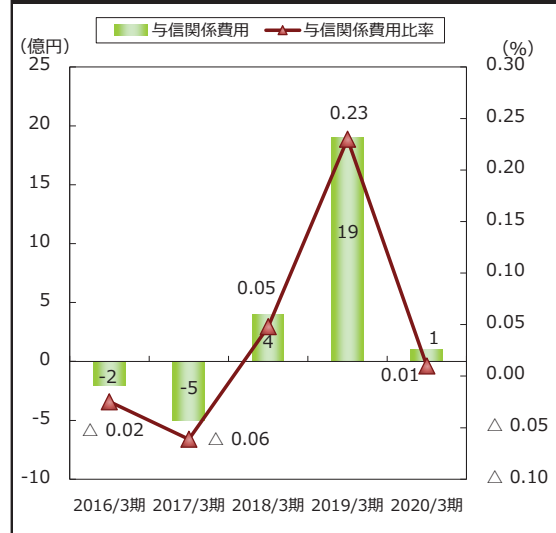
## 4. 不良債権の状況

不良債権額(金融再生法ベース)は、債務者区分のランクダウンにより前年比39億円増加し、不良債権比率は同要因及び公金向け貸出の減少による債権額合計の減少によって同0.51ポイント上昇いたしました。  
 与信関係費用は、一般貸倒引当金の繰入額の減少と、不良債権処理額の減少により1億円となりました。

金融再生法開示債権の推移



与信関係費用・同比率の推移



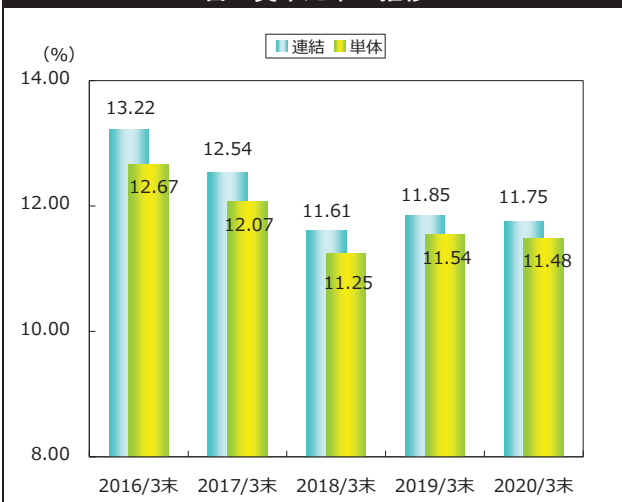
(※1) 与信関係費用 = 一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理額 - 償却債権取立益 - 貸倒引当金戻入益

(※2) 与信関係費用比率 = 与信関係費用 ÷ 貸出金平残 (年率換算)

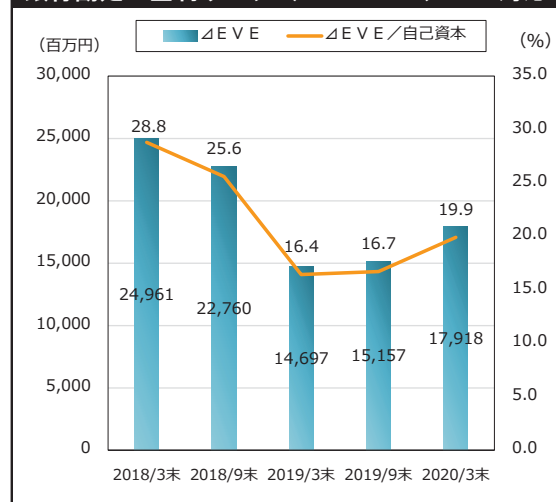
## 5. 経営の健全性

自己資本比率は、連結ベースで11.75%、単体ベースで11.48%となり、安定的に高い健全性を維持しております。  
 銀行勘定の金利リスクへの対応については、収益とのバランスを図りながら、自己資本に占める $\Delta$ EVE(※1)の割合を20%未満に維持しております。

自己資本比率の推移



銀行勘定の金利リスク(IRRBB)への対応

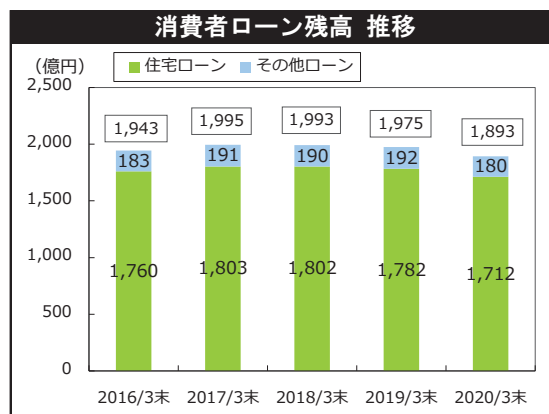
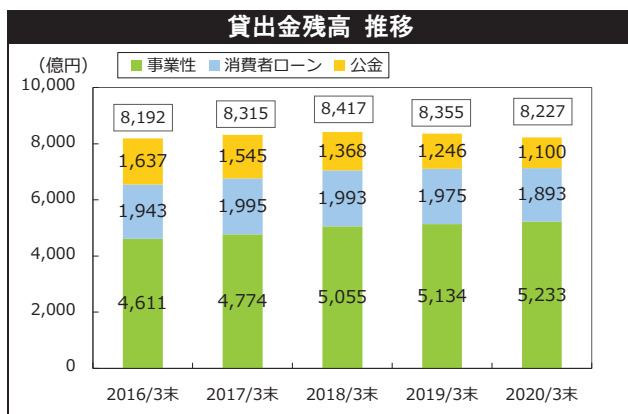


(※1)  $\Delta$ EVE(Economic Value of Equity) = 金利ショックに対する経済的価値の減少額。上表記載の $\Delta$ EVEは当行の減少額が最大となる上方パラレルシフトでの値。

## 6. 主要勘定の状況

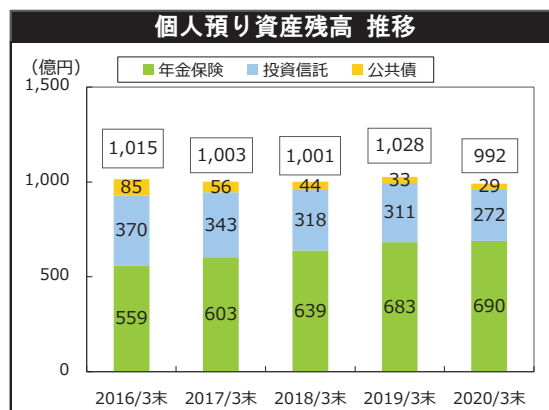
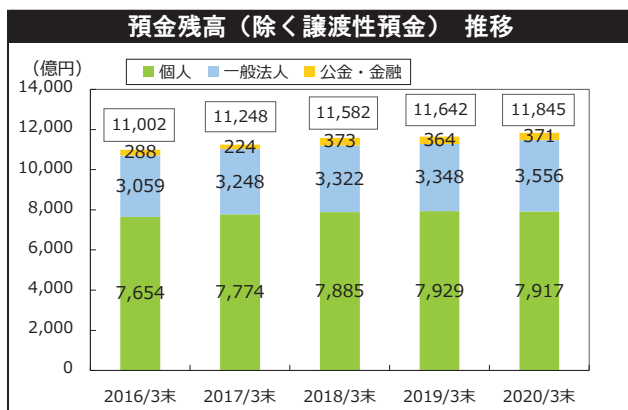
### (1) 貸出金

貸出金残高は、事業性は増加しましたが公金・消費者ローンの減少により前年比128億円減少し、8,227億円（年間増率△1.5%）となりました。  
 消費者ローンは、前年比81億円減少し、1,893億円（年間増率△4.2%）となりました。



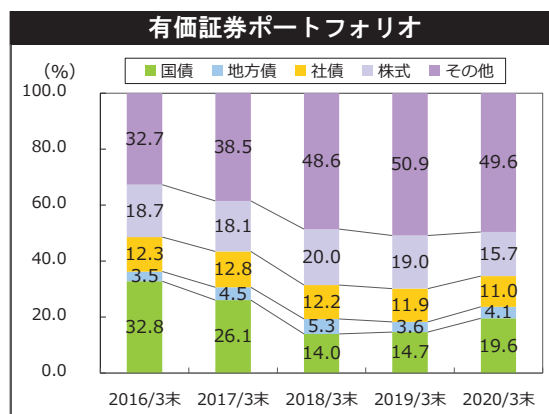
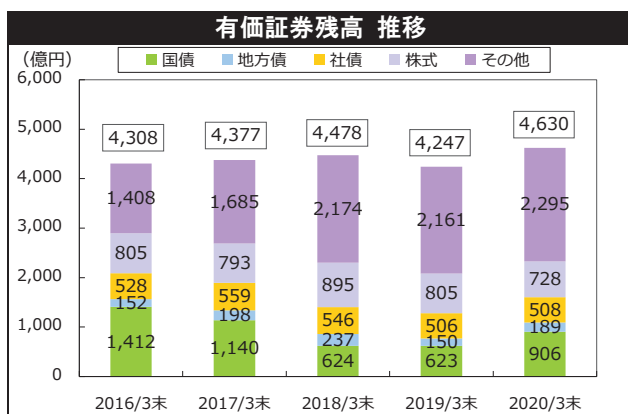
### (2) 預金・個人預り資産

預金残高（除く譲渡性預金）は、一般法人や公金・金融の増加により前年比202億円増加し、1兆1,845億円（年間増率1.7%）となりました。  
 個人預り資産は、年金保険は増加しましたが投資信託・公共債の減少により前年比36億円減少いたしました。



### (3) 有価証券

有価証券残高は、国債や地方債、外国証券等のその他有価証券の増加により前年比382億円増加し、4,630億円（年間増率9.0%）となりました。



## Ⅱ. 2020年3月期決算の概況

### 1. 損益状況 (単体)

(単位: 百万円)

	2020年3月期		2019年3月期
		前年比	
経常収益	27,213	3,103	24,109
<b>業務粗利益</b>	<b>18,792</b>	<b>2,790</b>	<b>16,001</b>
(コア業務粗利益)	18,184	144	18,040
資金利益	17,437	355	17,082
役務取引等利益	854	△0	854
その他業務利益	499	2,435	△1,935
(うち国債等債券損益)	607	2,646	△2,038
うち国内業務粗利益	16,222	△13	16,236
(コア業務粗利益)	16,179	△364	16,544
資金利益	15,261	△279	15,540
役務取引等利益	851	1	850
その他業務利益	109	264	△154
経費(除く臨時処理分)(△)	12,295	△83	12,379
人件費(△)	5,861	△96	5,958
物件費(△)	5,583	△76	5,659
税金(△)	849	89	760
実質業務純益	6,496	2,874	3,622
<b>コア業務純益</b>	<b>5,889</b>	<b>227</b>	<b>5,661</b>
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	5,415	208	5,207
一般貸倒引当金繰入額(△)	△294	△780	485
<b>業務純益</b>	<b>6,791</b>	<b>3,655</b>	<b>3,136</b>
臨時損益	△3,260	△4,559	1,299
うち株式等損益(3勘定戻)	△2,742	△5,557	2,815
うち不良債権処理額(貸出金関係)(△)	410	△1,025	1,436
個別貸倒引当金繰入額(△)	457	△903	1,361
貸出金償却(△)	0	△0	0
偶発損失引当金繰入額(△)	△47	△121	73
債権売却損(△)	0	0	0
うち償却債権取立益	2	0	2
うちその他臨時損益	△109	△27	△81
<b>経常利益</b>	<b>3,531</b>	<b>△904</b>	<b>4,436</b>
特別損益	△595	△240	△354
固定資産処分損益	△6	△16	10
減損損失(△)	589	224	365
税引前純利益	2,935	△1,145	4,081
法人税、住民税及び事業税(△)	1,042	△13	1,056
法人税等調整額(△)	△245	233	△479
<b>当期純利益</b>	<b>2,138</b>	<b>△1,365</b>	<b>3,504</b>

### 2. 業務純益

[ 単体 ]

(単位: 百万円)

	2020年3月期		2019年3月期
		前年比	
業務純益	6,791	3,655	3,136
職員1人当たり(千円)	9,498	5,271	4,226
コア業務純益	5,889	227	5,661
職員1人当たり(千円)	8,236	606	7,629

(注) 職員数は期中平均人員を使用しております。2020年3月期715人、2019年3月期742人

### 3. 損益状況（連結）

(単位：百万円)

	2020年3月期		2019年3月期
		前年比	
経常収益	32,230	3,363	28,866
<b>連結粗利益(注)</b>	<b>19,542</b>	<b>2,895</b>	<b>16,646</b>
資金利益	17,693	431	17,261
役務取引等利益	881	△3	884
その他業務利益	967	2,466	△1,498
営業経費(△)	12,728	△66	12,794
貸倒引当金等費用(△)	139	△1,848	1,988
個別貸倒引当金繰入額(△)	462	△898	1,361
一般貸倒引当金繰入額(△)	△290	△825	534
偶発損失引当金繰入額(△)	△47	△121	73
貸出金償却(△)	15	△3	19
債権売却却損(△)	0	0	0
償却債権取立益	4	0	3
株式等関係損益	△2,744	△5,608	2,864
その他	△1	△10	9
<b>経常利益</b>	<b>3,931</b>	<b>△808</b>	<b>4,740</b>
特別損益	△595	△240	△354
税金等調整前当期純利益	3,335	△1,049	4,385
法人税等合計(△)	917	241	675
法人税、住民税及び事業税(△)	1,168	1	1,167
法人税等調整額(△)	△251	240	△491
非支配株主に帰属する当期純利益(△)	186	50	135
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>2,232</b>	<b>△1,341</b>	<b>3,573</b>

(注) 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用)  
+ (その他業務収益 - その他業務費用)

(参考)

(単位：百万円)

	2020年3月期		2019年3月期
		前年比	
連結業務純益	7,203	3,792	3,410

(連結対象会社数)

	2020年3月期		2019年3月期
		前年比	
連結子会社数	4	-	4
持分法適用会社数	-	-	-

## 4. 利回・利鞘

### (1) 全店

[単体]

(単位：%)

		2020年3月期		2019年3月期
			前年比	
資金運用利回	(A)	1.41	0.00	1.41
貸出金利回	(B)	1.11	△ 0.03	1.14
有価証券利回		2.00	0.03	1.97
資金調達原価	(C)	1.03	△ 0.02	1.05
預金等原価		1.06	△ 0.02	1.08
預金等利回	(D)	0.04	△ 0.01	0.05
(預金利回)		0.04	△ 0.01	0.05
経費率	(E)	1.02	0.00	1.02
資金調達利回		0.04	△ 0.01	0.05
総資金利鞘	(A) - (C)	0.38	0.03	0.35
預貸金利鞘	(B) - (D) - (E)	0.04	△ 0.02	0.06

### (2) 国内部門

(単位：%)

		2020年3月期		2019年3月期
			前年比	
資金運用利回	(A)	1.24	△ 0.04	1.28
貸出金利回	(B)	1.09	△ 0.03	1.12
有価証券利回		1.99	0.00	1.99
資金調達原価	(C)	1.02	△ 0.02	1.04
預金等原価		1.05	△ 0.01	1.06
預金等利回	(D)	0.03	△ 0.01	0.04
(預金利回)		0.03	△ 0.01	0.04
経費率	(E)	1.01	△ 0.01	1.02
資金調達利回		0.03	△ 0.01	0.04
総資金利鞘	(A) - (C)	0.22	△ 0.02	0.24
預貸金利鞘	(B) - (D) - (E)	0.04	△ 0.01	0.05

## 5. 有価証券関係損益

[単体]

(単位：百万円)

		2020年3月期		2019年3月期
			前年比	
<b>国債等債券損益 (5勘定戻)</b>		<b>607</b>	<b>2,646</b>	<b>△ 2,038</b>
国債等債券売却益		4,333	3,960	373
国債等債券償還益		0	△ 0	0
国債等債券売却損		1,742	△ 214	1,957
国債等債券償還損		1,984	1,528	455
国債等債券償却		-	-	-
<b>株式等損益 (3勘定戻)</b>		<b>△ 2,742</b>	<b>△ 5,557</b>	<b>2,815</b>
株式等売却益		2,674	△ 993	3,667
株式等売却損		5,169	4,317	851
株式等償却		246	246	0



## 6. 自己資本比率（国内基準）

〔単体〕

(単位：百万円)

	2020年3月末		2019年3月末
		前年比	
(1) 自己資本比率 (4) / (5)	11.48%	Δ 0.06%	11.54%
(2) コア資本に係る基礎項目	91,134	698	90,435
(3) コア資本に係る調整項目	1,201	187	1,014
(4) 自己資本計 (2) - (3)	89,932	510	89,421
(5) リスクアセット	782,818	8,393	774,424

〔連結〕

(単位：百万円)

	2020年3月末		2019年3月末
		前年比	
(1) 自己資本比率 (4) / (5)	11.75%	Δ 0.10%	11.85%
(2) コア資本に係る基礎項目	94,876	495	94,381
(3) コア資本に係る調整項目	1,198	129	1,068
(4) 自己資本計 (2) - (3)	93,678	365	93,312
(5) リスクアセット	797,234	10,020	787,213

## 7. ROE

〔単体〕

(単位：%)

	2020年3月末		2019年3月末
		前年比	
業務純益ベース（一般貸倒繰入前）	7.04	3.24	3.80
業務純益ベース	7.36	4.07	3.29
当期利益ベース	2.32	Δ 1.36	3.68

## 8. 有価証券の評価損益

### (1) 有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法(評価差額を損益金処理)
満期保有目的有価証券	償却原価法
その他有価証券	時価法(評価差額を全部資本直入)
子会社・関連会社株式	原価法

### (2) 評価損益

[単体]

(単位: 百万円)

	2020年3月末				2019年3月末		
	評価損益		評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
		前年比較					
満期保有目的	535	△ 142	541	6	677	679	2
その他有価証券	△ 3,789	△ 13,260	20,599	24,388	9,471	22,801	13,329
株式	△ 2,277	△ 6,560	9,560	11,838	4,283	11,840	7,557
債券	1,853	△ 1,981	2,000	147	3,834	3,836	2
その他	△ 3,364	△ 4,718	9,038	12,402	1,354	7,123	5,769
<b>合 計</b>	<b>△ 3,253</b>	<b>△ 13,402</b>	<b>21,141</b>	<b>24,394</b>	<b>10,149</b>	<b>23,480</b>	<b>13,331</b>
株式	△ 2,277	△ 6,560	9,560	11,838	4,283	11,840	7,557
債券	2,383	△ 2,121	2,537	153	4,504	4,509	4
その他	△ 3,359	△ 4,720	9,042	12,402	1,361	7,130	5,769

(注) 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。

[連結]

(単位: 百万円)

	2020年3月末				2019年3月末		
	評価損益		評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
		前年比較					
満期保有目的	538	△ 134	544	6	672	679	6
その他有価証券	527	△ 11,705	25,006	24,478	12,233	25,706	13,473
株式	1,435	△ 5,394	13,311	11,876	6,830	14,425	7,595
債券	1,909	△ 1,971	2,057	147	3,881	3,884	2
その他	△ 2,817	△ 4,339	9,637	12,454	1,521	7,397	5,875
<b>合 計</b>	<b>1,066</b>	<b>△ 11,840</b>	<b>25,550</b>	<b>24,484</b>	<b>12,906</b>	<b>26,386</b>	<b>13,479</b>
株式	1,435	△ 5,394	13,311	11,876	6,830	14,425	7,595
債券	2,440	△ 2,111	2,594	153	4,551	4,556	4
その他	△ 2,809	△ 4,334	9,645	12,454	1,524	7,404	5,879

(注) 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。

## 9. 預金・貸出金の残高等（単体）

### （1）主要勘定末残高及び増減状況

(単位：百万円)

	2020年3月末		2019年3月末
		前年比	
預金	1,184,550	20,266	1,164,283
譲渡性預金	51,133	22,111	29,021
貸出金	822,732	△ 12,853	835,586
有価証券	463,007	38,212	424,794

### （2）主要勘定平残及び増減状況

(単位：百万円)

	2020年3月末		2019年3月末
		前年比	
預金	1,168,914	△ 2,996	1,171,910
譲渡性預金	30,911	△ 1,134	32,045
貸出金	814,154	△ 16,556	830,711
有価証券	449,747	27,872	421,874

### （3）個人預り資産の残高

(単位：百万円)

	2020年3月末		2019年3月末
		前年比	
個人預り資産	99,205	△ 3,688	102,894
うち 公共債	2,936	△ 439	3,376
うち 投資信託	27,259	△ 3,873	31,133
うち 年金保険	69,009	624	68,384

### （4）消費者ローン残高

(単位：百万円)

	2020年3月末		2019年3月末
		前年比	
消費者ローン残高	189,306	△ 8,197	197,503
住宅ローン残高	171,239	△ 7,010	178,249
その他ローン残高	18,067	△ 1,186	19,253

### （5）中小企業等貸出比率

(単位：%)

	2020年3月末		2019年3月末
		前年比	
中小企業等貸出比率	63.75	0.02	63.73

### （6）その他

(単位：百万円)

	2020年3月末		2019年3月末
		前年比	
役務取引等収益 (経常収益比)	2,012 (7.39%)	△ 57 (△1.19%)	2,070 (8.58%)
外国為替取扱高	260百万\$	△38百万\$	299百万\$
外国為替売買損益	△ 174	△ 123	△ 50

## 10. リスク管理債権の状況

[ 単 体 ]

(単位：百万円)

	2020年3月末		2019年3月末
		前年比	
破綻先債権額 (貸出金に占める割合)	988 (0.12%)	348 (0.05%)	639 (0.07%)
延滞債権額 (貸出金に占める割合)	16,896 (2.05%)	3,762 (0.48%)	13,134 (1.57%)
3か月以上延滞債権額 (貸出金に占める割合)	106 (0.01%)	83 (0.01%)	22 (0.00%)
貸出条件緩和債権額 (貸出金に占める割合)	2,631 (0.31%)	△184 (△0.02%)	2,816 (0.33%)
リスク管理債権合計 (貸出金に占める割合)	20,622 (2.50%)	4,009 (0.52%)	16,612 (1.98%)
<b>貸出金残高</b>	<b>822,732</b>	<b>△12,853</b>	<b>835,586</b>

[ 連 結 ]

	2020年3月末		2019年3月末
		前年比	
破綻先債権額 (貸出金に占める割合)	994 (0.12%)	348 (0.05%)	645 (0.07%)
延滞債権額 (貸出金に占める割合)	16,897 (2.08%)	3,760 (0.49%)	13,136 (1.59%)
3か月以上延滞債権額 (貸出金に占める割合)	107 (0.01%)	84 (0.01%)	23 (0.00%)
貸出条件緩和債権額 (貸出金に占める割合)	2,636 (0.32%)	△184 (△0.02%)	2,821 (0.34%)
リスク管理債権合計 (貸出金に占める割合)	20,635 (2.54%)	4,008 (0.53%)	16,627 (2.01%)
<b>貸出金残高</b>	<b>810,197</b>	<b>△13,445</b>	<b>823,643</b>

※ リスク管理債権は、貸出金のみを対象としております。

## 11. 金融再生法開示債権

	〔 単 体 〕		(単位：百万円)
	2020年3月末	前年比	2019年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 (債権額合計に占める割合)	3,900 (0.47%)	786 (0.10%)	3,113 (0.37%)
危険債権 (債権額合計に占める割合)	14,062 (1.69%)	3,315 (0.42%)	10,747 (1.27%)
要管理債権 (債権額合計に占める割合)	2,737 (0.33%)	△ 101 (0.00%)	2,838 (0.33%)
小計 (A) (債権額合計に占める割合)	20,700 (2.49%)	3,999 (0.51%)	16,700 (1.98%)
正常債権	807,517	△ 16,388	823,905
<b>債権額合計</b>	<b>828,217</b>	<b>△ 12,388</b>	<b>840,606</b>

※ 金融再生法開示債権には、貸出金のほか、支払承諾見返、外国為替等が含まれております。

## 12. 金融再生法開示債権の保全状況

	〔 単 体 〕		(単位：百万円)
	2020年3月末	前年比	2019年3月末
保 全 額 (B)	13,585	1,846	11,738
貸倒引当金	4,170	97	4,073
担保・保証などによる保全額	9,414	1,748	7,665
保 全 率 (B) / (A)	65.62%	△ 4.66%	70.28%

## 13. 貸倒引当金の状況

	〔 単 体 〕		(単位：百万円)
	2020年3月末	前年比	2019年3月末
貸倒引当金合計額	5,658	△ 110	5,768
一般貸倒引当金	1,936	△ 294	2,231
個別貸倒引当金	3,721	183	3,537

## 14. 業種別貸出状況等 (単体)

### (1) 業種別貸出金

(単位：百万円)

	2020年3月末		2019年3月末
		前年比	
<b>合計</b>	<b>822,732</b>	<b>Δ 12,854</b>	<b>835,586</b>
製造業	133,934	10,617	123,317
農業・林業	2,279	Δ 960	3,239
漁業	51	Δ 12	63
鉱業,採石業,砂利採取業	1,064	Δ 72	1,136
建設業	40,607	935	39,672
電気・ガス・熱供給・水道業	24,411	888	23,523
情報通信業	12,158	1,456	10,702
運輸業、郵便業	30,487	Δ 407	30,894
卸売業	46,545	786	45,759
小売業	37,295	1,473	35,822
金融業、保険業	61,135	Δ 4,205	65,340
不動産業	49,785	906	48,879
物品賃貸業	22,319	2,995	19,324
学術研究、専門・技術サービス業	6,515	Δ 667	7,182
宿泊業	2,919	Δ 290	3,209
飲食業	4,236	46	4,190
生活関連サービス業、娯楽業	4,652	Δ 431	5,083
教育、学習支援業	1,050	Δ 184	1,234
医療・福祉	17,787	Δ 2,735	20,522
その他のサービス	19,193	123	19,070
地方公共団体	110,066	Δ 14,558	124,624
その他	194,237	Δ 8,554	202,791

### (2) 貸出金業種別リスク管理債権

(単位：百万円)

	2020年3月末		2019年3月末
		前年比	
<b>合計</b>	<b>20,622</b>	<b>4,009</b>	<b>16,612</b>
製造業	5,651	1,763	3,887
農業・林業	221	Δ 17	239
漁業	-	-	-
鉱業,採石業,砂利採取業	231	18	212
建設業	1,846	106	1,740
電気・ガス・熱供給・水道業	1	0	2
情報通信業	132	Δ 24	157
運輸業、郵便業	2,152	262	1,890
卸売業	2,166	680	1,485
小売業	2,194	244	1,949
金融業、保険業	215	Δ 49	265
不動産業	443	Δ 62	506
物品賃貸業	5	-	5
学術研究、専門・技術サービス業	147	8	139
宿泊業	637	Δ 28	665
飲食業	554	Δ 27	582
生活関連サービス業、娯楽業	531	150	380
教育、学習支援業	20	3	16
医療・福祉	980	99	881
その他のサービス	710	360	350
地方公共団体	-	-	-
その他	1,778	523	1,254